

2024年11月20日

## 「マイナ保険証の押し付け反対！保険証を残せ 11・28 一日行動」開催のご案内

マイナンバー制度反対連絡会

(問い合わせ先)

03-5842-5611(全労連 担当:石川)

マイナ保険証の利用率は、9月の時点で13.87%と低迷しています。マイナ保険証の利用が伸びない理由は、使い勝手の悪さとトラブルの多さ、そして紛失や盗難を恐れて持ち歩きたくない人が多いことにあります。

石破首相は、総裁選をめぐる論戦の中で「(保険証の)期限が来ても納得しない人がいっぱいいれば併用も選択肢として当然」と言っていたものの、総裁になった途端に「保険証廃止は予定どおり」と手のひらを返しました。平デジタル大臣も保険証廃止は「予定の日程どおりのスケジュールで進める」、「マイナ保険証が嫌な人に資格確認書というアナログ手段・選択肢を残しており、石破総理の総裁選時の発言と齟齬はない」としています。

総選挙の結果、衆議院の与党議席は過半数割れとなりました。政権与党への国民の批判の結果です。逆に躍進を遂げた立憲民主党は、11月12日に現行の健康保険証の廃止を延期する法案を衆議院に提出しました。「保険証を残せ」の世論は日を迫うごとに大きくなっており、保険証の存続は国民の最大の関心事となっているという事実を、政府は真摯に受け止めるべきです。

自治体・建設労働者などの労働組合、商工業者団体等で組織する「マイナンバー制度反対連絡会」は、全国保険医団体連合会(保団連)等の医療関係者団体、高齢期運動連絡会、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、共通番号・カードの廃止をめざす市民連絡会等の市民団体とともに、11月7日(木)午後1時から、日比谷野外音楽堂で「マイナ保険証の押し付け反対！保険証を残せ！11.7 大集会」を開催しました。集会は2300人の参加で大きく成功し、「保険証を残せ」の世論を広げる一役を担うことができたと確信しています。

11月28日は、一日行動として上記の各団体等と共に国会内での集会、国会前行動、厚労省とデジタル庁への抗議行動などに取り組みます。つきましては、報道各社の皆様にぜひ取材をお願いいたします。

### 記

**【日時】 11月28日(木) 12:00~13:00 保団連院内集会 場所:参議院議員会館講堂**

**13:30~14:30 国会正門前(南庭側)行動**

**15:00~15:45 厚労省抗議行動**

**16:15~17:00 デジタル庁抗議行動**

**【主催】 マイナンバー制度反対連絡会**

以上